

技能評価システム移転促進事業(SESPP)は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部が受託しております。

日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取り組みなどお知らせしています。(年3回発行)

□研修レポート

■カンボジアにおける競技課題採点・評価セミナー(情報ネットワーク施工)

カンボジアにおける情報ネットワーク施工は本年度がSESPP事業としての支援の最終年となります。2024年9月23日(月)～27日(金)の競技課題採点・評価セミナーにつづいて、カンボジア国内競技大会において実施された同職種の模擬競技に、10月23日(水)～24日(木)に日本からの専門家を派遣しての支援が実施されました。

9月の研修では松本祥孝氏(関西職業能力開発促進センター)および横山泰彦氏(株式会社関電工)に講師をご担当いただきました。7名の受講者に加え、3名の競技選手が参加し、10月の模擬競技を自主的に運営できるよう、実際の競技内容に即した形での指導、模擬競技が実施されました。

松本専門家からは、『カンボジア国内競技大会に「情報ネットワーク施工」職種の新設を目指し、模擬競技を通じて、競技準備・競技・審査に関する一連の競技運営について技術指導を行った。各施工に対する評価技術は、適切な評価ができるレベルになったと言える。当該職種にかかる施工技術・評価技術は、ともに想定以上の水準を満たしており、2021年度から支援を始め、4年間の投入量に対して十分に満足の行く結果を得られたと感じている。10月末の本番の競技大会では、適切な競技運営が実施され、成功裡に終わることを祈念する。』との講評をいただきました。

続く10月の模擬競技への支援は、10月23日(水)～24日(木)の2日間のスケジュールで行われ、菊池拓男氏(職業能力開発総合大学校)に指導・評価をいただきました。

本研修を継続的に受講してきた3名が運営委員をつとめ、9月の研修に参加した選手3名が競技に参加しました。

菊池講師より、『本支援を通じて技能競技会の運営方法、競技課題・評価基準の作成方法、評価方法等について習得してもらった。本年度は、その成果のまとめとして模擬競技会を実施したが、非常に素晴らしい運営かつ内容であった。選手のスキルレベルも非常に高く、今後は継続的な訓練によりASEAN Skills Competitionでメダル獲得を狙える様になると思われ、さらなる研鑽を期待したい。』との講評をいただきました。



模擬競技実施風景(9月)



国内技能競技大会における模擬競技実施風景



専門家による指導風景(10月)

■ ラオスにおける配電盤・制御盤組立て作業 3 級の職業訓練技法研修(VTM)、 2 級の技能評価者講習(SAT)

2024年11月2日(土)、11月4(月)～11月8日(金)に配電盤・制御盤組立て作業 3 級の職業訓練技法研修(VTM)および2級の技能評価者講習(SAT)がラオス技能開発院(SDI)で実施されました。講師は萩生田幸男専門家(高和電気工業株式會社)にご担当いただき、SDIやピエンチャン技能開発センターを中心に9名が受講しました。

VTMは標準作業書(作業手順書)の作成方法を学び、実践を通して技術を向上させ、弱点を克服し、学生・技能者への指導力の向上を目指して実施する研修です。3級の『組立て方法訓練』、『配線方法訓練』、『チェック方法訓練』、『配線チェック方法訓練』の課題を講師が自ら実践して、指導しました。

つづいてのSATでは、『技能評価者事前講習』、『等級別実技試験問題のポイント解説』、2級の『実技試験問題解説』、『作業手順解説』、『実技試験実施要領解説』、『実技試験採点基準解説』、『実技試験採点要領解説』、『実技試験採点方法研修』、等の講義と実技指導が3日間にわたって実施されました。

講師の萩生田専門家からは、『今年度のラオス研修は、評価者の育成は順調に出来てきている(2023年度に6名の3級認定評価者が誕生)が、実技課題作成の技能力・技術力があまり向上していないことから、3級のVTMをラオスで初めて実施した。現地にて工具、材料等制限がある中でTWI-JI(Training Within Industry- Job Instruction)の手法により効率良く指導する事ができた。後半3日間は、2級のSAT(技能評価者講習)を初めて実施し、3級の相違点をポイントに講習を実施した。今回も研修が出来た事はとても有意義であり、受講者は真面目かつ、一所懸命に取り組み、3級VTM・2級SATを理解し、習得して頂いた。』との講評をいただきました。

受講者からは、『受講者が採点の重要なポイントや効率・効果的な組み立て・配線作業の実践方法を理解するためには、VTM研修は非常に重要である。』、『専門家から教授された技能やノウハウは、専門家の長い実務経験、指導経験から得たもので、とても貴重なものである。』との感想が寄せられました。



専門家による実技指導風景



技能評価者講習講義風景



実技試験採点演習風景

■ ベトナムにおける機械検査 2 級の技能評価トライアル(SET)、 技能評価技法研(SEM)

2024年10月18日(金)～10月22日(火)に機械検査2級の技能評価トライアル(SET)および技能評価技法研修(SEM)がドンナイ大学にて実施されました。SETの評価者は11名、受検者は13名で、内1名がみごと合格しました。SEMの受講者は6名でした。

SETは、1日目に実技試験実施方法および運営上の留意点についての講義に続き、SETの準備、2日目にSET、3日目に採点作業、実技試験結果表および試験結果表作成演習が行われました。SEMは『計画立案等作業試験問題の構成・内容、解き方の要点の説明、模擬演習』を行い、『図形問題に関する講義・解説』、『学科試験問題演習、解き方の説明、作成上の要点を説明』の後、実際に『学科試験問題作成演習および作成した問題の相互評価』が実施されました。

講師の稲川文夫氏(SESPP事務局技術顧問)からは、『2回目の2級のSETとなり、評価者は受検者に対する指示や正解値の測定について適切に対応していることが判断でき、評価者としての能力向上が図られている』、『今回1名の合格者が誕生した。学科試験に関しては、12名中7名が合格レベルに達していた。また、計画立案等作業試験に関しては、13名中8名が20点以上でレベルが高かった一方、製作等作業試験では20点以上は1名で、三針によるねじの有効径測定、歯厚マイクロメータでまたぎ歯厚を測定して歯車の法線ピッチを求める作業、ハイトゲージによる高さ測定に苦戦している受検者が多かった。これらの測定に関する段取りと測定作業に慣れることで、今後多くの合格者が誕生することが期待できる。』等の講評がありました。



専門家による講義風景



技能評価トライアル学科試験風景



技能評価トライアル実技試験風景

■ カンボジアにおける配電盤・制御盤組立て作業2級の技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC)

2024年12月9日(月)～12月13日(金)に配電盤・制御盤組立て作業2級の技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC)がプノンペンの産業技術大学(ITI)にて実施されました。カンボジアでの本職種は2014年に開始され、2018年の3級の評価者認定に続き、今回は当該職種の総仕上げである2級でのSACを実施することができました。

今回のSETはSAC認定の場でもあるため、評価者が自主的にSETを運営する形で実施されました。

SAC対象者である評価者は11名で、みごと11名全員が評価者に認定されました。SETの受検者は4名で合格者は出ませんでした。実技試験に1名が合格しました。

講師の萩生田幸男氏(高和電気工業株式会社)からは、『専門家としては配電盤・制御盤組立て職種としての研修は全て教えてきた。最後は対象者全員と面談しながら最終評価を実施した。2級SAC受講者は、この職種のカンボジアのリーダーであり、推進責任者であると確信している。カンボジアの基準を作成してASEANで最初に自国での技能検定が開催できる事を切に祈念している。』との講評をいただきました。



専門家による講義風景



技能評価トライアル学科試験風景



技能評価トライアル実技試験風景

■ 日本における本邦研修 技能競技大会セミナー(技能評価システム普及セミナー)

2024年11月20日(水)～28日(木)に、活動対象国の技能評価制度に携わる政府関係者を日本に招聘しての、本邦研修が開催されました。今回はマレーシア、フィリピン、タイ、カンボジア、ラオスの5か国から8名が参加しました。

日本の先進事例や実際の競技大会の運営を視察することで、技能競技大会の運営方法等を学び、帰国後に自国での技能評価システムの構築や充実を図ってもらうことを目的として実施されました。

研修は、『日本の公共職業訓練の概要』の講義(厚生労働省海外協力室、内野智裕海外協力推進官)、『日本の技能検定と技能競技大会の概要と役割』についての講義(SESPP事務局、稲川文夫技術顧問)、各参加国の技能評価制度(技能検定・技能競技大会)の発表、愛知県国際展示場で開催された技能五輪全国大会の視察、日本の職業訓練施設の視察(ポリテクセンター千葉およびポリテクカレッジ千葉)、日本の技能競技大会の実施体制等についての講義(中央職業能力開発協会)等のプログラムで構成され、最終日に参加者が帰国後に研修の成果をもとに実施するアクションプランの発表が行われ、9日間にわたる研修が締めくくられました。

参加者からは『各国との技能評価制度の共有と、愛知県での技能五輪全国大会の視察が印象に残った。』、『このセミナーで学んだことを参考にして、自分たちのシステムを改善する。』等のコメントが寄せられました。



厚生労働省による講義風景



技能五輪全国大会視察風景



アクションプラン発表風景

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL : +81-3-6737-9263 FAX : +81-3-6737-9266
 担当 : 近藤・池田・岩下
 E-mail : sespp@jtb.com